

# 31

## ■残雪のブナの森にクロジ・マミジロが歌う

### 五味沢・浅草岳 (北魚・入広瀬村)

■環境：山地  
 ■対象：一般  
 ■期間：5月中旬～7月上旬

浅草山ろくは、野鳥の宝庫として古くから知られ、これまでに63種の鳥が確認されている。また国定公園、鳥獣保護区にも指定されている。

#### <残雪に響く夏鳥のコース>

浅草岳・五味沢・ネズモチ平・田代平といった浅草岳周辺は溪流、湿原、森林、岩りょうなど自然的要素が豊かである。

田代平には湿原があり、50種以上の鳥が観察されているがアプローチが長い。ここでは、初心者にも十分楽しめる五味沢、ネズモチ平を、また健脚の人に浅草岳をお勧めしたい。

#### <五味沢～ネズモチ平>

浅草岳山ろくへの玄関口は小出。車で小出ICから1時間ほどで五味沢に着く。浅草山荘かホテル大自然館前の駐車場に車を置きスタートしよう。



田代平から見た浅草岳

ホテル付近は開けていて、ホオジロ、キセキレイなどの姿や声に出会う。さらに進んで左手の破間川対岸のブナ林からアカショウビンの声が響いてくる。この一帯はフィッシングパークでイワナ橋を渡り遊歩道を散策することも可能だ。左手の白崩ダムや立ガラ岩の上空にはイワツバメが飛び回っている。

白崩沢橋を渡ると、オオルリ、サンショウウイ、アカショウビン、クロツグミなどの声が聞こえてくる。残雪の多い年は車両通行止めのあるので要注意。

やがて道は左右に分かれる。左は田代平への道であるが、営林署の許可がないとゲートから8kmほど歩くことになる。

ネズモチ平へは右の道を進む。開けた環境のためカッコウやイカル、ホオジロ、モズなどが多く見られる。

#### <浅草岳へのルート>

浅草岳は残雪の多い山で、5～6月は足回りとして長靴が欠かせない。

樫(ブナ)曾根の登山口には水場がある。登り始めるとジュウイチやクロツ



グミの声が聞こえる。沢を渡るとブナの森が広がりクロジ、マミジロのコースが響く。

さらに中腹まで登るとマミジロに交じりコルリ、ウグイス、ヒガラが姿を見せる。2時間かけて山頂まで登ればメボソムシクイ、ウソ、ビンズイといった鳥が迎えてくれるだろう。

なお山頂付近は例年6月上旬まで雪が残る。滑落等の事故に気をつけ、無理は慎みたい。

下山は登山道を引き返すか、コースを変え桜曾根5合目に下り、30分かけて登山口に戻ることも可能である。

健脚の人は桜曾根からヤジマナ沢に沿って下るコースがあり、歩く人も少なく鳥の声がじっくり聞ける。約2時

間、沢を渡ると間もなく登山口、ここから浅草山荘は近い。

(桑原哲哉)

**メモ**  
**交通** 小出ICから国道252号線で大  
 白川まで約1時間、JR大白川駅から  
 五味沢まで車で約15分。駅から村営の  
 福祉バスもある。(1日1往復)  
 ㊦ 浅草山荘前駐車場、トイレあり。  
 ホテル大自然館前バス停駐車場樫曾根  
 登山口 水場あり 10台程度。  
 桜曾根登山口 15台程度。  
**探鳥会** 日本野鳥の会新潟県支部や新  
 潟県野鳥愛護会の探鳥会がときどき催  
 される。  
 宿泊は国民宿舎浅草山荘、サングリー  
 ンパーク、音松荘など数軒ある。浅草  
 山荘には淡水魚水族館があり、信濃川  
 水系に生息する魚類をみることができ  
 る。